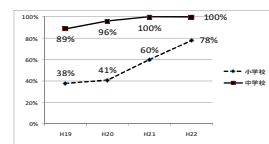
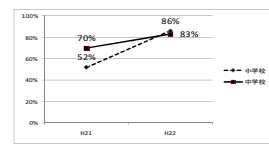


施策の評価

施策の柱	柱⑥	体力づくり ～体力・運動能力の向上～
------	----	---------------------------

1. 施策の主要目標の達成度

施策の主要目標	目標達成度	判断理由																																														
<p>① 児童生徒の体力向上に向けた体育授業の改善・充実を目指す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px; width: fit-content;"> 目標達成のための主な手段 事業 39, 41, 42, 43 </div>	B	<p>◆体力向上に向け、課題を把握するための新体力テストの実施率 ◇体力の現状・課題を明確にすることが、効果的・効率的な取組に必要である。実施率が増加傾向にあることから、実態に応じた取組につながっているといえる。</p>  <p style="text-align: center;">新体力テスト実施状況調査結果</p> <p>◆体育・保健体育の授業改善に取り組んだ学校の率 ◇体力向上に向けた取組のうち、「体育・保健体育の授業改善」と答えた割合が大きく増加し、授業を中心とした体力向上への取組が行われるようになってきた。</p>  <p>◆体育授業における「体カアップ75プログラム」の実践率 ◇高知県教育振興基本計画における平成22年度の「プログラム活用率70%」に対して、+3.5ポイント上回った。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px; width: fit-content;"> 小学校 H22 81.5% 中学校 H22 57.8% (全体 73.5%) </div> <p>【全国体力・運動能力、運動習慣等調査】 平成20年度～平成22年度（体力合計点） 小学校男子 51.61→53.08 女子 52.19→53.37 中学校男子 38.18→40.93 女子 43.95→46.68</p>																																														
<p>② 体力向上につながる児童生徒の運動習慣の確立を目指す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px; width: fit-content;"> 目標達成のための主な手段 事業 39, 40, 43 </div>	C	<p>◆運動・スポーツの実施頻度について（「毎日＋時々」する）</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>学年</th> <th>性別</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">小学校</td> <td>男子</td> <td>85.5%</td> <td>86.8%</td> <td>83.7%</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>71.6%</td> <td>75.2%</td> <td>72.8%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中学校</td> <td>男子</td> <td>87.6%</td> <td>88.1%</td> <td>84.5%</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>67.7%</td> <td>69.9%</td> <td>61.6%</td> </tr> </table> <p>◆運動・スポーツの実施時間について（「1日1時間」以上）</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>学年</th> <th>性別</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">小学校</td> <td>男子</td> <td>67.1%</td> <td>67.0%</td> <td>68.5%</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>43.1%</td> <td>41.7%</td> <td>44.9%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中学校</td> <td>男子</td> <td>84.1%</td> <td>83.8%</td> <td>81.3%</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>59.9%</td> <td>60.1%</td> <td>55.2%</td> </tr> </table> <p>◇運動習慣（運動頻度・運動時間）については、ほとんど変化が見られていない。習慣化に向けて、基本的な生活習慣の取組と連携しながら、継続的に進めていくことが必要である。</p>	学年	性別	H20	H21	H22	小学校	男子	85.5%	86.8%	83.7%	女子	71.6%	75.2%	72.8%	中学校	男子	87.6%	88.1%	84.5%	女子	67.7%	69.9%	61.6%	学年	性別	H20	H21	H22	小学校	男子	67.1%	67.0%	68.5%	女子	43.1%	41.7%	44.9%	中学校	男子	84.1%	83.8%	81.3%	女子	59.9%	60.1%	55.2%
学年	性別	H20	H21	H22																																												
小学校	男子	85.5%	86.8%	83.7%																																												
	女子	71.6%	75.2%	72.8%																																												
中学校	男子	87.6%	88.1%	84.5%																																												
	女子	67.7%	69.9%	61.6%																																												
学年	性別	H20	H21	H22																																												
小学校	男子	67.1%	67.0%	68.5%																																												
	女子	43.1%	41.7%	44.9%																																												
中学校	男子	84.1%	83.8%	81.3%																																												
	女子	59.9%	60.1%	55.2%																																												

2. 施策を構成する個別事業・取組の評価結果

個別事業・取組	目標達成度	検討項目	総合評価
39 子どもの体力向上支援事業	B		平成20年度から22年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果からは、小・中学校とも体力合計点の改善率は全国トップとなっているものの、各項目の記録は、未だ全国平均値に届いていないものがほとんどである。体力向上に向け、学校・家庭・地域・行政が連携した取組を推進するうえで、中核となる本事業の重要性は非常に高い。なお、中学校においては、プログラムの活用は行っていないが、独自に工夫した活動を取り入れている事例が多くある。
40 トップアスリート夢先生派遣事業	B	オ	トップアスリートと子どもたちが直接触れ合う活動は夢や感動を与えることにつながり、数値としては捉えにくいですが、その後の生き方自体に肯定的な影響を与えることが期待できる。特に高知県ではトップアスリート等と触れ合う機会も少なく、児童にとっても貴重な経験となる。更に、メディアにも取り上げられることが多く、スポーツを通じた体力向上対策として県民への広報の役割も十分果たしている。
41 健やかな体を育む小学校体育推進事業	-	オ	小学校の体育科においては、教科書がないため、指導者の参考となる資料等の有効性は明らかになっている。今回は特に必要とされる技能指導に焦点を当てた資料を作成した。しかし、文部科学省の資料との整合性を図るために、作業が遅れる結果となった。次年度は、配付した資料を有効に活用させるための手立てを講じる必要がある。
42 地域スポーツ人材の活用実践支援事業	B		体育やスポーツについては、専門性が高い特性があり、体育・体育的活動の推進においては、外部指導者との連携が有効な手段の一つである。実際、授業が活性化され、意欲や技能の向上が図られている。また、本事業への申請数も多く、学校現場のニーズが高い事業の一つとなっている。
43 体力・運動能力、運動習慣等調査事業	B	オ	体力向上に向けた取組を充実させるためには、現状把握・分析のための客観的なデータは必要不可欠である。学校においては、実施後3週間程度で詳細なデータが提供されることで、効果的に活用することができた。また、県においても、詳細な分析がなされたことで、課題を明確にした取組を計画することができた。

3. 施策の総合評価と今後の方向

総合評価	目標達成度	内容
B	B	全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果から、平成20年度と22年度を比較すると、体力・運動能力は上昇傾向になってきている。更に、体力に関する調査結果からは、学校現場の体力向上対策に関する意識の向上が図られてきている。しかし、運動習慣の定着については、基本的な生活習慣と合わせながら継続的な取組を行っていく必要がある。
今後の方向		全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果では、体力合計点の改善率が全国トップとはいえ、調査項目別の記録は、未だ全国平均に届いていないものが多い。今後は、今まで以上に体育・保健体育の授業改善を中心としながら、更に家庭、地域、その他の関係機関との連携方法を検討するとともに、平成23年度中に「うちの子ども体力アップアクションプラン」の改訂を行っていく。